

《10》クズ(葛) マメ科

九月二十日は彼岸の入り。暑さも収まり新百合山手の公園内も、秋の花の見ごろを迎えます。

おばなくずばな
萩の花尾花葛花をでてしこが花をみなえし

ふじばかまあさがお

また藤袴朝顔が花

山上憶良



ここに列挙してある秋の七草のうち、はじめの六つは今でもその名で呼ばれています。最後の「朝顔の花」はいまの朝顔ではなく桔梗のことです。

今回は、この七草の中のクズ(葛)の花です。

クズは、七草や葛湯で知られていますが、名前と実態とは結びつかないようで、道端などにおいて茂っているのをこれがクズだと教えられるとビックリする人が多い。それでも花は、紅紫色で10cm以上も穂があり、人の気持ちを引くこともできる。

しかししたい大きい葉の陰に隠れていて、葉をめくつてのぞかないと見えない。根は大きいもので子供の頭くらいになり、ここからクズ粉をとります。

